

工場塗装関連部門における SDGs の推進

日本建築仕上学会フォーラム委員会と学術委員会では、2021年11月に「日本建築仕上学会 SDGs 対応宣言」を学会 HP において公表している。

グローバルな SDGs の推進および本会の宣言を受けて、環境配慮形塗装普及展開委員会では、現在展開されている建築分野の工業化構法において、不可欠なアルミニウム合金材料に対する工場で実施する塗装仕上げに着目した研究を長年にわたり継続している。

そのような研究成果を活用した標準仕様書や標準指針を刊行して、塗装品質や耐久性の確保とともに、人間の健康安全と地球環境の保全に配慮した塗装仕様の標準化を推進している。本研究活動は、SDGs の推進に大きく寄与することになるため、2022年4月から工場塗装関連部門における SDGs の推進内容を検討してきた。その成果として、関連が深い Goals を絞り込んだうえで、各 Goal に対応する Targets を創出して、関連部門における SDGs の推進内容を取りまとめた。関連部門において広く展開されることを目的として、検討の結果を一覧表にして本会 HP で公開する。本内容が関連部門における SDGs 推進の一助となれば、幸甚である。

2023年4月10日

日本建築仕上学会

環境配慮形塗装普及展開委員会

工場塗装関連部門で推進するSDGsのGoals およびTargets

2023.4.10.

No.	Goals	Targets	推進部門			
			学会委員会	ABA会員	材料製造者	ABA非会員 塗装工場
3	 すべての人に健康と福祉を	有害物質の不使用（Crフリー・VOCフリー） 研究開発の推進と環境配慮仕様の普及展開	○	◎	◎	◎
4	 質の高い教育をみんなに	標準仕様書・標準指針の普及展開 環境配慮形塗装仕様の重要性を啓蒙 講習会の実施	◎	◎	◎	○
7	 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	材料製造工程と塗装工程（索地調整を含む）の 加熱源に再生可能エネルギーを採用	○	◎	◎	◎
8	 働きがいも経済成長も	研究開発の推進 環境配慮形塗装仕様の確立と普及展開	◎	◎	◎	○
9	 産業と技術革新の 基盤をつくろう					
11	 住み続けられるまちづくりを					
12	 つくる責任つかう責任					
13	 気候変動に具体的な対策を					
14	 海の豊かさを守ろう					
15	 陸の豊かさも守ろう					
17	 パートナリーシップで目標達成を	委員会活動の活性化 研究成果の情報発信	◎	◎	◎	○

◎：推進主体

○：取り組むことが望ましい